

世の中で話題になっているニュース等について知り、考えるためのヒントを得られるような資料情報をご紹介します。

## アニマルウェルフェア

最近の新聞記事から

「(取材考記) 福祉向上へ 畜産動物の犠牲、消費者知って」

(太田匡彦 朝日新聞 2023年12月11日) 夕刊 7面

「動物福祉」求める株主 日本でも総会議案 わかもと製薬が試金石 実験動物など開示要求」

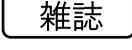
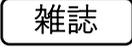
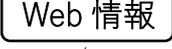
(日本経済新聞 2024年6月17日) 朝刊 15面

「教えて! ちばのマイスター 動物福祉の向上って? 心と体の状態プラスに 千葉市動物公園 水上恭男さん」

(毎日新聞千葉版 2024年5月12日) 朝刊 21面

「アニマルウェルフェア (動物福祉)」という言葉を知っていますか。国際獣疫事務局 (WOAH) は「アニマルウェルフェアとは、動物が生きて死ぬ状態に関連した、動物の身体的及び心的状態をいう」と定義しています。日本での取り組みはまだ遅れており、世界動物保護協会 (WAP) の2020年版動物保護指数でも、総合的な評価が低く、特に畜産動物に関する評価は最低ランクとなっています。日本で普及が進まない理由の一つにコストの負担があります。アニマルウェルフェアに配慮した飼養に伴うコスト増が商品としての販売価格に上乗せされたとき、アニマルウェルフェアに配慮していない安い商品と配慮した高い商品、消費者である我々はどちらを選ぶのでしょうか。

書名・記事・論文名	出版情報・サイト情報等
動物福祉学 増補版	新村毅編 昭和堂 2024 西部: 645/1 <span style="float: right;">図書</span>
科学的な立場から動物福祉を概観する教科書的な一冊。動物福祉の歴史、定義、評価から、家畜などの産業動物やペットなどの伴侶動物、動物園動物、実験動物、野生動物等、各カテゴリーにおける歴史や問題点、改善点について論じる。	
アニマル・マシーン 近代畜産にみる悲劇の主役たち	ルース・ハリソン著 講談社 1979 <span style="float: right;">図書</span> 中央: 6402/H33
狭い畜舎で飼育される鶏などを詳細に記し、さらに近代畜産に伴う薬漬けの食品の安全性の問題や、動物は「もの」なのかという倫理的な観点からも考察する。現代社会でのアニマルウェルフェアの課題が45年前に既に語られている。	
アニマルウェルフェアについて	農林水産省 <span style="float: right;">Web 情報</span> <a href="https://www.maff.go.jp/j/chikusan/sinko/animal_welfare.html">https://www.maff.go.jp/j/chikusan/sinko/animal_welfare.html</a>
令和5年7月に公表した「畜種ごとの飼養管理等に関する技術的な指針」をはじめ、意見交換会の記録や関連する通知や法令等を掲載する。	

<b>動物福祉</b> <b>世界の歩みと日本の取組み</b>	植木美希著 工作舎 2024 西部：645/2	
<p>アニマルウェルフェアの中でも特に家畜とペットについての最新の状況について論じる。ペットについては、アメリカの動物保護施設における獣医療「シェルターメディスン」と日本におけるペット飼育の問題点についてわかりやすく語られている。</p>		
<b>飼い喰い</b> <b>三匹の豚とわたし</b>	内澤旬子著 KADOKAWA 2021 中央：C645/28 東部：C645/7/21	
<p>畜産が盛んな千葉県旭市に引っ越し、3匹の豚が生まれてから、屠殺し、食するまでを描いたノンフィクション。個人での小規模飼育と対比して、大規模畜産での効率化のための、生まれてすぐに行う薬剤注射、しっぽ切り、犬歯切りなどの実情も伝える。</p>		
<b>特集 我が国の畜産におけるアニマルウェルフェア（AW）の現状</b>	『JATAFFジャーナル』 (Vol.11 No.12 2023.12) p3-49 東部	
<p>収録論文「採卵鶏生産システムのアニマルウェルフェア飼養導入の経済性評価」で紹介されている研究では、現在最も普及しているコンベンショナルケージ（バタリーケージ）と平飼いとは鶏卵の小売価格にして約2倍の価格差となると試算されている。</p>		
<b>特集 養殖魚の動物福祉を考える</b>	『アクアネット』（27巻5号 2024.5） p21-47 東部	
<p>アニマルウェルフェアの範囲は水産業にも及ぶ。本特集では、水産動物の動物福祉について先進的な国内企業の取り組みやノルウェーにおけるサケ・マス養殖、クルマエビの養殖、日本の伝統技術である活〆など、様々な側面から論じる。</p>		
<b>昆虫食スタディーズ</b> <b>ハエやゴキブリが世界を変える</b>	水野壮著 化学同人 2022 中央：3838/107	 
<p>昆虫食が普及しつつある現代では、昆虫の家畜化も進んできている。これまでは事実上、動物福祉の対象から除外されてきた昆虫。第6章では、昆虫は痛みを感じるのか、昆虫は意識を持つのかという観点から、昆虫の福祉について考察する。</p>		
<b>アニマルウェルフェアや人権に配慮した食品の購入意向に関する国際比較</b>	三菱UFJリサーチ&コンサルティング <a href="https://www.murc.jp/library/report/seiken_230711/">https://www.murc.jp/library/report/seiken_230711/</a>	
<p>日・米・英・豪の4か国を対象に実施したオンラインアンケートの結果を取りまとめる。アニマルウェルフェアに配慮した食品の購入経験や購入意向、食品の値上がり容認度等について聞いている。いずれの間に対しても日本は他国に比して低位にとどまる結果となっている。</p>		
<b>やまなしアニマルウェルフェア認証制度について</b>	山梨県農政部畜産課 <a href="https://www.pref.yamanashi.jp/chikusan/yamanashiaw.html">https://www.pref.yamanashi.jp/chikusan/yamanashiaw.html</a>	
<p>令和3年度に国内の自治体としては初となるアニマルウェルフェアの認証制度を制定している。取組を認証するエフォート基準と、実績を認証するアチーブメント基準から構成される。基準を満たした認証農場は専用のロゴマークが使用可能となるほか、県HPでも紹介されるなどのアドバンテージが得られる。</p>		

(インターネットの最終確認日：2024年12月28日)

作成：千葉県立東部図書館